

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2271101335		
法人名	有限会社 在宅支援センターふれあい		
事業所名	グループホームふれあい香貫	ユニット名	1F
所在地	静岡県沼津市下香貫楊原530-16		
自己評価作成日	平成31年3月14日	評価結果市町村受理日	令和元年5月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=2271101335-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社 福祉第三者評価 調査事業部		
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町4-1		
訪問調査日	平成31年3月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

食事3食全て手作りとし、季節の物、小さいながらも家庭菜園を行い収穫した旬の野菜を取り入れて提供しています。又、調理レク活動として、ぼた餅・恵方巻き・お節・マーマレード・梅干・干し柿等、長年培われた経験を活かしていただいています。季節行事で出来た物「ぼた餅や恵方巻等」近所へのお裾分けで顔なじみになる機会を作っています。誕生日企画では、利用者様ご家族様からご要望を伺い、外出や皆さんと一緒に等の計画を立てています。季節を感じて頂けるようみかん狩り・イチゴ狩り・七夕見学等定期的な企画をして実行しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ベテランの管理者とリーダーの指導の下、職員は事業所の理念「みんな仲よく集う毎日」を共有し、チームワーク良く日々の介護を行い、利用者は仲良くゆったりと過ごしている。食事は3食全てが職員の手作りで現在も継続している。敷地内の家庭菜園で職員と利用者が育てた旬の野菜が食卓に上ることもあり、家庭的な食事を楽しんでいる。利用者のほとんどが協力医を主治医とし、全員対象と個別の往診がそれぞれ月1回あり、夜間帯は24時間オンコールで対応が可能である。週3回の法人の看護師による訪問看護もあり、医療面が充実している。ミーティングは職員が輪番で司会を務め、自由な雰囲気で行い、意見が出やすい工夫をしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念「みんな仲よく集う毎日」は見やすい場所に明示している キャリアパスの考課項目にもなっており 個々でも理念実践に取り組んでいる	事業所理念「みんな仲よく集う毎日」を事務室内に掲示し、日々確認している。分かり易い理念であり、新しい職員を含め職員全員で共有し実践している。仕事の約束や介護の約束5か条は職員の考課項目である。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年中行事の際、開催、参加のお知らせを行っている。地域主催の行事へ積極的に参加することで顔と顔と合わせた交流を心掛けている。地域包括と協力し民生委員との関係構築の勤めている	事業所の餅つき、また、恵方巻やぼた餅作りに近隣住民の参加を呼びかけている。近隣神社の祭典に出かけ、地域の子供みこしや輪踊りの場に駐車場を提供している。2校の中学生の職場体験と音楽ボランティアを受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	学生の職場体験への休力や認知症カフェの開催を行い一般の方々に認知症への理解を深めてもらえるよう取り組んでいる			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月の会議にて施設側から利用者様に関する報告等を含めご家族様、地域包括、民生委員と情報交換を行いサービス向上に努めている。ご家族様には会議開催のご案内を送付し参加していただけるようお願いしている	地域包括支援センターや民生委員、家族1～2名や市介護相談員が参加し、偶数月の土曜日に開催している。参加者の拡大を図るために認知症カフェを同日に開催し、念願であった民生委員と住民の参加が最近実現した。	参加者拡大を図るために認知症カフェを同日に開催する等の努力が実り、民生委員等の参加が実現した。もう一歩進めて、自治会長や近隣の住民、事業所の大家等、参加者の一層の拡大と実現を期待したい。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	GH会議に参加し他施設と情報交換を行っている。介護申請時等、担当者とも対面できる場であり相談やお話を聞かせていただいている、定期的に施設の情報誌を届け情報交換を行っている	市長寿福祉課に法人の情報紙を毎月届け、運営推進会議議事録を毎回提出し、必要時には訪問もしている。生活保護の利用者関連で、社会福祉課の来訪が年1回ある。市グループホーム南部地区連絡会に出席している。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設の研修、ミーティングで身体拘束についての正しい知識の理解をもつように勤めている。玄関施錠は安全の観点から行なっているが必要に応じ適切に対応をしている。身体拘束し真に添ったアンケートの実施や振り返りを毎月行っている	職員全員を対象とした年1回の研修や「身体拘束廃止について」のアンケートを3ヶ月に1回実施している。また、毎月フロアミーティングで法人作成の指針の各項目について、振り返りと見直しを行っている。家族の了解を得て、玄関を施錠している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃より利用者様を敬うことを持って接する様心掛けている。研修、ミーティングからの勉強により職員の意識向上に努めている。グループ主催の虐待研修へ参加しフィードバックを行なった			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様の人生にとって重要な意味を持つ制度を為責任者(管理者、リーダー)が主に理解しています。必要性の判断を含め責任者が対応しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前、退去時ともに説明は丁寧に行い手続きを進めている。特に入居前は面接、訪問の時から利用者様、ご家族様との信頼関係構築に努め質問等しやすくしています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	内容の大小に問わず記録や申し送り事項に含め職員間で共有する事で早めの対応に繋がっています。又ご要望・クレーム報告書記載し全体で把握できるようになっている	面会の多い家族からは、些細な意見や要望も逃さず聞き取り対応している。面会の少ない家族には電話で聞いている。聞き取った意見や要望は「要望・クレーム報告書」に記入し、職員全員で共有している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロアミーティング、全体ミーティングの進行を職員主導で行い発言しやすい環境にしています。会議計画書作成し、会議の検討内容を把握できるように掲示している	全体ミーティングとフロアミーティングを毎月開催し、職員が輪番で司会を務め、自由な雰囲気運営している。事前にミーティング計画書を作成して回覧するなど、意見が出やすい工夫をしている。終了後に全員が「会議記録」を作成している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の評価は出来ています。その上でキャリアパスを取り入れ個々がスキルアップ出来やりがいをもてる環境整備を行なっています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的な研修参加を促しています。ミーティング時フィードバックを行い全体的なレベルアップと各自の向上心を高めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会議や研修参加に加え交流イベントへの参加、他事業所にへ出向き学ぶ。公私での交流で幅広い情報交換を行い視野を広げています		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	背景から理解を深めるようご本人様だけではなくご家族様や関わりがあった方々からも情報収集を行なう。ご本人の心に寄り添い傾聴し信頼関係構築に努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入時に考えられるご家族様側の様々な不安等に対応できるよう訴えに耳を傾け必要に応じ多職種が各々の分野で関わりフォローできるよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様とご家族様の要望に対して優先順位を正しく行い迅速かつ適正なサービス導入に努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の個性を理解した上で尊重し出来る力の継続を大切に不十分な部分の支援を行ないます。身体的に支援が多い方々からも経験や知識から出来る力を引き出せるような言葉がけに努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に近況報告をする際は伝わりやすい表現でお話します。レクリエーションの等のお誘いを通じて施設を知っていただき絆や信頼関係えと結びつけるよう努めています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外泊、外出等ご家族様と過せる時間の提供と支援に努めます。ご本人様の人生と歴史を尊重しご家族様や関わりの方や場所との繋がりを大切に考えます	家族との外出やドライブ、外食を楽しむ人、また、自宅への宿泊や孫の結婚式へ出席する人がいる。長男が経営するコーヒーショップに通うのを楽しみにしている人や友人、知人が来訪する利用者等を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格や生活歴に加え現在の体調や精神状態等を総合的に判断し利用者様同士の関係性がバランスよく保てるよう配慮します		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後、転所先へ詳細な情報提供を行なっている。必要に応じてご家族様へのサポートや関係機関との情報交換等、支援継続を行なっている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	暮らし方の要望には可能な限り希望に沿うよう努めている。困難な場合は日常生活での会話、表現、行動を職員間で共有し希望に近い支援を検討し行なっている。少しの会話の内容で支援に繋がるよう努めています	生活歴を把握した上で、日常生活の会話から思いや意向を聞き取っている。入浴で個別対応をした時や、散歩時の何気ない話から思いを汲み取り、「気づき表」で細かく管理して職員全員で情報共有をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に本人、ご家族様から生活歴、生活環境等の情報提供頂く際は出来るだけ詳細に説明頂けるようご協力頂いている。又、入居時の手伝いを積極的に行ない職員側からも情報収集に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの食事、睡眠、排泄を観察し特変時には時系列に記録を残し状況把握が出来るよう努めている。特に入居直後は小さな変化を見落とさないよう注意を払っている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状に適した支援を行う為、ご本人様、ご家族様や医療機関とも連携をとり多角的な検討を行いケアプランの評価見直しを行なっている。プラン作成前にはご要望ご意向を面会時に伺っています。又電話にて伺うこともあります	介護計画の見直しは、支援計画記録を基に本人の意見を確認し、フロアミーティングの後でカンファレンスを行い職員の意見を聞いている。主治医の往診の際に、計画に関する意見を伺い、家族には面会時や電話等で説明し確認を取っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録、日誌等には誰が見ても状況をつかめる共通の用語を用いるようにしている。特記事項等は申し送りで情報の引継ぎ共有を行い実践につなげている。気づき表を活用し利用者様の変化等共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	安楽な日々を過ぎて頂く為の支援サービスを常に模索し一人ひとりその時々合った支援、サービスに取り組んでいます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣市町村、一般、ご家族様、ボランティアの活用、調理レク、季節の手作りレクを行った際はご近所へのお裾分けをし交流の場を広げています。又、散歩や買物等の支援を行なっています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医以外の受診対応やご希望に添った医療を受ける支援を行なっています。又、医療連携医の月2回の立会い、情報共有、ご家族様への報告、特変時には医療連携医やご家族への適切な対応、病院対応の送迎を利用しています	利用者のほとんどが協力医に受診している。往診は全員また個別ともに月1回診でもらっている。夜間帯は24時間オンコールで対応可能である。週3回法人の看護師による訪問看護がある。専門医に受診の際は、家族の付き添いを基本としている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療部医師看護師、施設巡回看護師への情報、相談は直通の連絡対応で指示を頂いたり報告をさせて頂いています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には生活必需品のお届け、医療機関と連携し情報交換を行いご家族様に説明しています。こまめに入院先へお伺いしその度情報を頂き退院時には安心して治療の継続が出来るよう行っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医、医療関係者との説明の場を設け、ご家族ご本人から今後の意向を伺いながら「見取り介護意向確認書」記入して頂き、情報方針を共有し支援を行なっています。又、支援方法医療・ご家族との関わり、お看取りのケアプランを作成し支援に取り組んでいます	重度化や看取りに対する対応の指針があり、家族に対する説明及び家族の同意を書面で交わしている。主治医の終末期の状況に応じた説明で家族が看取りを希望した場合は、情報を共有して看取りのケアプランを作成し、支援を行う方針である。今年度は年末年始にかけて看取りを行った。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに沿って、ミーティング内で事業ない研修を随時何があっても対応できるように行なっている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練に参加し消防署員立会いの、風水害・夜間想定・日中想定の方針訓練を実施しています	火災訓練を年に2回、独自の対策として風水害の訓練を実施している。水がないことを想定した風水害の訓練で、電気の確保が課題として上げられた。地域の防災訓練に参加を試みたが、現場が遠方で利用者を連れての参加は困難なことから途中で断念した。	

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用様の生活歴、性格を理解し言葉がけを行なっています。それぞれの思いや気持ちを尊重し、共感傾聴を行なっています	利用者の生活歴はもとより、性格や現状も踏まえた言葉がけを心がけている。レクリエーションなど、できる事を継続していくための支援も人格の尊重と考えている。ブログなどに名前や写真を公表しないように周知徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様からの言葉、表現から察することが出来るよう日頃から寄り添い言葉掛けを行なっています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のペースや集団生活の枠に合わせる事が無いよう、安静時間、散歩、趣味等心穏やかに落ち着いた生活をして頂く支援を行なっています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご希望により、毛染め、定期的訪問美容室の利用を行っています。入浴準備の際、好きな服を選んで頂いたり着替えの際には身なりに興味を持って頂くように心掛けています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	施設内菜園で季節の野菜の収穫、提供をしています。又、行事ごとの食事レクでは節分の恵方巻き、お彼岸のぼた餅等の手作り体験して頂き楽しみの一つとなっています	献立表の作成と調理は職員の当番制で、3食全てが手作りである。利用者が家庭菜園を手伝って収穫したブロッコリー等も食卓に上げ、時にはレクリエーション食や行事食もある。普段からテーブル拭きを手伝ったり、その場の雰囲気のできる事を手伝ったりする利用者もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	配茶、食事時のその度の記録を基に必要なに応じ医師、看護師に相談し指示を仰いでいます。変更があった場合には職員全員に周知徹底を行っています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者様それぞれに合わせた支援を行なっています。仕上げ磨き、口腔内の確認で清潔保持に努めています。歯科協力医の月2回の往診、必要に応じて歯科衛生士による月4回のブラッシングも行なっています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツ対応の利用者様のリハパンへの変更ができるよう支援しています。排泄表を目安にしていますが、利用者様の動きに合わせての排泄時間のご案内を行なっています。	日中は主にリハビリパンツを使用している。失禁の際にはさりげなく処置を行い、拭くタオルなどは温めて対応している。日誌やトイレ誘導表等から情報を共有し、タイミングを見て誘導している。オムツからリハビリパンツに改善した利用者がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝ヨーグルトの提供。朝食時には味噌汁にオリーブオイルを使用。午前中のレク活動参加への促しで身体を動かしていただく。体操等参加されない方には、廊下歩行等の言葉掛けで自主的に歩いていただける様工夫しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴予定表は有るが、当日のご希望や体調等により変動しての支援を行なっています。又、体調に考慮し週2回入浴が難しい利用者様は、清潔保持の為清拭・ドライシャンプー・足浴への変更支援を行なうこともあります。	入浴は週2回が基本で、拒否がある場合は状況に応じて人を替えたり時間を置いたりしている。羞恥心に配慮し、入浴は個別で対応している。季節に応じた入浴剤を使用し、CDで音楽を流すなどの工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安静希望の利用者様については、夜間時に影響のない時間での安静をして頂いている。夜間はご希望により入床前に、湯たんぽを入れて温める等支援を行なっています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬マニュアルに沿った支援を行なっています。臨時往診時の薬の変更等口頭での申し送り、服薬管理表への記載で把握徹底できるよう行い、薬に変更があった際は日々の申し送り等で情報共有を行なっています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様からのご要望をくみ取り楽しみの提供を行なっている。ぬり絵・写経・新聞折・ゴミ箱作り・カラオケ等工夫を行なっています。ポテンティアの協力で月2回習字を行なっている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買物等に同行して頂いている。陽気の良い日には近所散歩を行い季節を感じて頂いている。日常の何気ない会話で、出掛けたい場所等を把握し、ご家族へお伝えしたり、外出の希望には出来るだけ添えるよう努めています	今年度11～3月は外出支援ができなかったが、来年度4月からの外出計画を立てている。普段から買い物や散歩には出かけており、外出できない時は居間で日向ぼっこをしている。日常の関わりから、外出への思いや希望も聞き取るように努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご要望があった際には傾聴しご希望に沿えるように努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様からの訴えには真摯に取り組んでいる。手紙の投函や本人へ届けを行い返事の言葉掛けを一緒に行ないます。ご家族様や大切な方々への交流に対してはご希望に沿えるように努めている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掲示スペースを活用し、塗り絵や折り紙を掲示し季節感のある掲示物の提供を行なっている。臭い対策の行なっています。	事業所内の清掃は職員が行っているが、一緒に手伝う利用者もいる。居間等には加湿器を2台ずつ置き、乾燥対策をしている。また、利用者の手の込んだ折り紙の作品も飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様間での交流がスムーズに行なえるようソファの設置場所や座る位置の工夫を行なっている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様、ご家族様の希望に沿った家具を使用して頂いている。ご家族の写真や誕生日カード等を設置し落ち着いた空間になるよう努めている	居室のクローゼットやエアコン、ベッドやカーテンは備え付けで、一部の部屋には洗面台も設置されている。家族の写真や寄せ書きの色紙を置いている人や、位牌を持ち込んでいる利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に過ぎて頂くための環境づくりに努めている。危険箇所の発見、改善等を職員間で検討し対応している。動線部分には物を置かなず、移動しやすい環境を作っています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2271101335		
法人名	有限会社 在宅支援センターふれあい		
事業所名	グループホームふれあい香貫	ユニット名	2F
所在地	静岡県沼津市香貫楊原530-16		
自己評価作成日	平成31年3月14日	評価結果市町村受理日	令和元年5月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=2271101335-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社 福祉第三者評価 調査事業部		
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町4-1		
訪問調査日	平成31年3月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

食事3食全て手作りとし、季節の物、小さいながらも家庭菜園を行い収穫した旬の野菜を取り入れて提供しています。又、調理レク活動として、ぼた餅・恵方巻き・お節・マーマレード・梅干・干し柿等、長年培われた経験を活かしていただいています。季節行事で出来た物「ぼた餅や恵方巻等」近所へのお裾分けで顔なじみになる機会を作っています。誕生日企画では、利用者様ご家族様からご要望を伺い、外出や皆さんと一緒に等の計画を立てています。季節を感じて頂けるようみかん狩り・イチゴ狩り・七夕見学等定期的な企画をして実行しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価票に記入されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが			○	3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「みんな仲良く集う毎日」を基本理念とし 日々の生活に笑顔が絶えない、明るく安心して生活できるよう支援しています	※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価票に記入されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事参加の呼びかけや、秋祭りなどで踊り場所の提供、地域主催敬老会には積極的に参加しています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近くの神社へ参拝。施設周辺の散歩の際にはご近所の方々より気軽に挨拶や会話があり。又、会話により認知症への理解をして頂くよう努めています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、施設内の生活様子を報告。又、事故やヒヤリハットへの対策を報告。ご家族からの意見、質問を汲み取り次に繋げています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月に一度、GH会議へ参加、他施設との情報交換相談を行なっている。介護申請時等、担当者との話をさせて頂いています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様の尊厳を守り、身体拘束について話し合い、理解に努めています。防犯上、玄関施錠してありますが、外出希望時は適切な対応をしています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修、ミーティング、会議等で取り上げ職員間で検討を行なっている。又、虐待が行なわれない様、職員相互のチェックや声掛け注意を徹底しています。年1回のふれあい全体の虐待研修への参加をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、一部職員は研修で学ぶ機会があります。ご利用者様で必要に応じ活用できるよう関係者に繋がっています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には面接訪問を行い入居時には分かりやすく契約書に添って重要事項説明等を行い質問に答えています。退去時も説明を行い解約の手続きを行なっています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時やご利用者様との会話の中で頂いたご要望、クレームについては、書式に残し対策を話し合っています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回のフロアミーティング、全体ミーティングを設け職員から意見提案を吸い上げ、管理者ミーティングに繋がっています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	実績勤務状況の報告で把握できています。働きやすい環境の場となるよう職員の要望等を聞き取り対応しています。キャリアパスを取り入れやりがいがあるよう環境整備をしています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修が充実しています。外部研修と合わせて職員個々に合った研修参加を促しシフト調整も行なっています。ミーティングの際、研修委員による研修も実施しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に一度GH会議への参加。他事業所見学など、その都度、意見交換や相談の機会を設けサービス向上に努めています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の不安、ご要望をお聞きし出来る限りの事に取り組み信頼関係構築に努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	関係者が共同でケアする事。ご家族の不安、ご要望等に対応し信頼関係を築けるようご入居時の面談等で伺いプランに反映に努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族様の要望に沿い支援をさせて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	言葉掛けにて、出来る事は無理なく楽しみながら行なって頂いている、入居時前の生活状況等を記入して頂き趣味や出来る事等楽しみの有る生活を過していただけるよう努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、日常の様子を分かりやすくお伝えしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様との外出支援に協力している。誕生日等、ご家族や友人の食事会を計画し関係が途切れないよう努めている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格、人柄、生活歴等を考慮し良好な関係性が保てるよう努めています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も必要に応じて本人様、ご家族様の相談や支援を行なっています。退去後も健康状態や生活について伺ったり催事へのお誘いを行なっています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様の意向、希望を尊重しています。困難場合でも希望に添えるよう検討しながら支援に繋げています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際、ご本人様、ご家族様より生活環境、生活歴等の情報を頂き、職員間で情報共有、周知を行なっています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調に考慮した過ごし方や、入居時には日常生活の状況把握等が出来るようセンター方式の24hシートの活用をしています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常気づいたことをミーティング等で話し合っています。心身状態変化に応じてご本人様、ご家族様、医療関係者に報告、相談しケアプラン見直しを行なっています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録、日誌、送りノートを活用しています。1日2回の送りで職員間で情報共有を行い支援に反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりの状況に応じた支援を行なっています。快適で穏やかに過ごして頂けるよう通院介助、外出支援等のサービス提供を行なっています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩や近隣の商店への買物を行なっています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医以外の受診等の同席やご希望に添った対応を行なっています。又、月2回の往診と特変事には医療連携医と連携をとり適切な対応を行なっています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療部看護師、施設巡回看護師への相談は直通の連絡で対応が来ています。疑問に思ったことや服薬指示頂き対応しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には生活必需品をお届けし、医療機関と連携、情報交換を行いご家族に説明しています。又、頻繁に入院先へ伺い情報を頂いています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医、医療関係者との説明会を開催し、ご家族様、ご本人様と今後の意向を伺いながら関係各位との情報交換、説明をおこなっています。医療との関わりや支援方法、お看取りのケアプランを作成し支援を行なっています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに沿いミーティングでいつ、どこで、何があっても対応できるよう検討を行なっています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練に参加し参加し消防署員立会いの防災訓練を行なっています		

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	現状だけでなく、これまでの生活歴や性格を尊重した支援や言葉掛けに努めています。親しみのある対応の中にも、ご利用者様の立場になって考え共感の気持ちを重視した支援を心掛けています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	様々な作業、動作に関する確認・同意を可能な限り行なえるよう努めています。またご利用者様の言葉だけではなく表情等からも察し対応できるよう心掛けています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団でしか経験出来ない行事等には無理なく参加していただき、職員の都合に合わせることなく趣味や休憩時間を心穏やかに過ごしていただけるよう心掛けています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪時や衣服選びの際には「似合う」等の言葉がけを行なっている。出来る方にはご自身で衣服を選んで頂き身なりに興味を持って頂ける言葉がけを心掛けています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様との会話の中で好みをお伺いし可能な限り提供を心掛けています。季節行事ではおはぎや恵方巻等、ご利用者様に調理して頂き食への興味、楽しみを持って頂けるよう努めています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の記録、情報の基、必要に応じ医師、看護師の指示を仰ぎ個々の体調に合わせた対応をしています。変更等はフロアミーティングで検討、確認を行なっています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	なるべくご自身にて行なっていただきますが、見守り、言葉掛け、仕上げ磨き等の支援を交えながら口腔衛生保持に努めています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様のプライバシー保護を大切にしながら排泄表を活用し自立支援に努めています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、乳製品を提供し手伝いやレク活動で身体を動かして頂くよう言葉掛けを行い便秘予防に取り組んでいます		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者様の身体状況を把握し入浴時間は言葉掛けの工夫によりご希望に添えるよう努めています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の体力や身体状況に応じ居室やソファ等で過ごして頂いています。夜間は必要時の言葉掛けや室内温度調節を行っています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬チェック表でそれぞれの服薬を把握できるようにし個人ファイルに処方薬内容を記載しています。副作用についての知識向上に努め変更時には送り等で伝えています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常会話の中から情報収集を行ない、編み物、写経、ぬり絵やパズル、月2回のボランティアによる習字レク等を行なって頂いています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様の要望に沿って買い物、外出等に出掛けています。又、誕生日には外食等希望に添えるよう努めています		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様、ご家族様と相談しながら希望されている買い物等の支援を行なっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご希望に寄り添い手紙や電話等のやり取りが出来るよう努めています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月、季節感のある掲示物を利用者様と作成、掲示しています。行事等の写真も一緒に掲示しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に寛ぐ事が出来るようソファの位置と工夫を行い座って頂いている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご希望の家具使用には安全面重視にて設置させて頂いている。安らげるようご家族の写真等を飾らせて頂いている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子移動、杖歩行の利用者様等、全利用者様が安全に過せる環境作りを心掛けています		